

ZOO Information

高木美保さんが 大森山動物園 名誉園長に就任

秋田市は「命とのふれあい、人と動物との共生」に高い関心を寄せている女優の高木美保さんに、動物園の幅広いPRとアドバイス等をいただくため、「大森山動物園名誉園長」を委嘱しました。

2月19日(木)の委嘱式で穂積市長から委嘱状を手渡された高木名誉園長は、「動物を通して、子どもたちに命の大切さを伝えたい」との抱負を述べました。

3月21日(土)の通常開園初日には、開園セレモニーに出席し、ポニーやトナカイ、オモリンなどと一緒に来園者を出迎えました。また当日、昭和48年9月の開園以来、総入園者数が1000万人に達し、1000万人目のお客さまと一緒に記念のくす玉割りでお祝い、記念品の授与に参加していただきました。

5月16日(土)、西部市民サービスセンターで名誉園長講演会「動物園で感じた命の絆」を開催し、約450人の市民が参加しました。

講演会では、高木名誉園長がこれまでの体験を通して感じた「命の絆」についてお話したほか、大森山動物園の魅力についても語りました。また、後半はスライド上映により、アムールトラやイヌワシなどの写真を見ながら小松園長、飼育員と楽しく対談しました。

7月25日(土)・26日(日)の両日に開催した「親と子のふれあい写生大会」の表彰式を8月23日(日)に行い、高木名誉園長から入賞者に国民文化祭メモリアル賞が授与されました。また、表彰式終了後の「名誉園長と巡る園内ツアー」では、約100人の来園者と一緒にリスザル、トナカイ、マーコール、シロフクロウの4カ所を回り、小松園長や飼育員と談笑しながら動物たちと触れ合いました。



入園者1000万人達成 記念品授与



名誉園長講演会



名誉園長と巡る園内ツアー



イベント レポート

Event Report

飼育の日イベント

4月19日(日)～5月6日(水)

(公社)日本動物園水族館協会では、4月19日を「飼育の日」としています。今年は飼育員の一日を丸ごと体験できる「チャレンジ・THE・キーパー」を開催したほか、飼育員の仕事や素顔を紹介した「パネル展」、「ドキュメンタリー動画の放映」、キリンやトナカイの取り組みを紹介するトークイベント、さまざまな鳥類の卵を紹介する「たまコレ(たまごコレクション)」など、盛りだくさんの内容で実施しました。



「たまコレ(たまごコレクション)」など、盛りだくさんの内容で実施しました。

どうぶつサイエンス

5月24日(日)

動物の不思議について学ぶ自然科学学習館との共同イベント。今回は「あしのひみつをさぐる」と題し、園内を回りながら、さまざまな動物の「あし」について学びました。26名の参加者は、飼育員の話や動物たちのあしを実際に観察しながら、形やその仕組みについて学び、鳥だけでもいろいろなあしの指の形と数の違いがあることを学びました。



春の動物ふれあいフェスティバル

6月7日(日)

動物園の人気イベント、春の動物ふれあいフェスティバルを開催しました。当日は天候に恵まれ、たくさんのかたが訪れました。どうぶつパレードでは、ラマを先頭にホンダフクロウ、アカコンゴウインコ、ヘビ、ペンギンなど8種類の動物が行進しました。パレードにはイメージキャラクター「オモリン」の舟も登場。「どうぶつパレード」の一文が名前に入っている8人の子どもたちが舟を引っ張り、パレードを盛り上げてくれました。このほか、無料エサやり体験や動物との記念撮影、猛獣舎を見学する裏側探検、ウォーククイズなど、この日限りの特別イベントを行いました。



移動動物園 in 新屋鹿嶋祭

6月14日(日)

大森山動物園が位置する秋田市西部地域(新屋地区)の子どもたちが主役の伝統行事「新屋鹿嶋祭」で移動動物園を開催し、地域のかたがたなど713人が来場しました。会場となった新政酒造跡地では、昨年から、まちづくりの推進として、地域住民や学校などが主体のイベントが数多く開催されています。従来、イベント主催者からの依頼を元に実施している移動動物園ですが、日頃から動物園の行事等に協力いただいている地元への感謝と、さらなる連携強化のために、今回は特別に「自主参加」となりました。通常の飼育作業が忙しい午前中でしたが、ボランティアガイドさんや各職員の協力もあり、イベントは無事に終了。暑い中、お祭りに参加し、疲れた表情の子どもたちも、動物やオモリンと触れ合い、笑顔になった様子を見て、お世話になっている地元の新屋に、ほんの少し「恩返し」できたと実感した1時間でした。



ゾウさんペーパー作り体験

6月21日(日)

アフリカゾウの来園25周年を記念したイベント「ゾウさんペーパー作り」を開催し、10組24名が参加しました。参加者は、ゾウのフンから繊維を取り出した紙の材料を木枠の網で水につけて形を整え、アイロンや電子レンジを使って乾燥させると、お気に入りのゾウのスタンプを押して、自分だけのオリジナルゾウさんペーパーを作りました。最初は恐る恐る紙をすいていましたが、回を重ねるごとにどんどん上手になり、子どもも大人も夢中で作っていました。



与次郎駅伝

7月19日(日)

秋田市中心市街地で毎年実施されている「第4回与次郎駅伝」に4名の職員が「チームオモリン」として出場しました。イメージキャラクターの「オモリン」が応援する中、動物園をPRしながら市街地を走り抜け、無事完走しました。



予告

さよなら感謝祭

11月29日(日)

通常開園最後の日曜日の11月29日に、動物の慰霊とお客さまへの感謝の気持ちを含めて、「さよなら感謝祭」を開催します。当日は、通常入園料大人720円のところ520円で入園できます。(他の割引との併用はできません。)

国文祭メモリアルフェスティバル in AKITA 秋田市大森山動物園 第38回親と子のふれあい写生大会

7月25日(土)・26日(日)

今年で38回目となる写生大会を開催しました。初日は、豪雨に見舞われ、翌日は一転した暑さの中、参加した親子は一生懸命に作品を仕上げていました。提出された作品392点の中から、秋田市造形教育研究会による審査で合計107点の作品が入賞しました。

8月23日(日)に行われた表彰式では、入賞者に市長賞や市議会議長賞、市教育長賞などの賞状と副賞が贈呈されました。受賞された皆さん、おめでとうございました。



【秋田市長賞】
外旭川小学校3年
黒崎真歩さん



【秋田市議会議長賞】
御所野小学校1年
畠山陽依さん



【秋田市教育長賞】
手形山幼稚園
渡部颯太さん(5歳)

サマースクール

7月30日(木)・31日(金)

第41回サマースクールを実施し、2日間で60名が暑い中、飼育作業に汗を流しました。

初日の午後からは、夜の動物園で飾られた「絵灯ろう」作りを行いました。翌日は、「ゾウさんペーパー」作りを行い、普段と違う動物園を体験していただきました。



夜の動物園

8月14日(金)～18日(火)

大森山動物園の夏の恒例イベント「夜の動物園」を開催しました。人気の動物の食事風景が見られる「夜のまんまタイム」や「エサやり体験」に加えて、ゾウ来園25周年記念「今夜限りの寝室見学」や大森山動物園のヒーロー「ミルヴェンジャー7」ショーなど、日替わりで特別イベントを毎日実施しました。また、期間中はサマースクール参加者と秋田公立美術大学の学生が描いた絵灯ろうやペットボトルのランタンがほのかな灯りで園内を照らし、夜の動物園を幻想的に彩りました。今年は、例年より1日長い5日間の開催で、約1万人のお客さまにお越しいただきました。



雪の動物園

2016年1月9日(土)～2月28日(日)

毎年好評の「雪の動物園」は今シーズンも開催。一面銀世界の動物園と、その中で過ごす動物たちの表情をご覧ください。